

CONTENTS

- 1. Recommend books おすすめ図書
- 2. News①蔵書リユース市開催のお知らせ
- 3. News②選書ツアー図書の展示について
- 4. News③ライブラリー・アテンダント企画展示について
- 5. Report ライブラリー・アテンダント活動報告

10月							11月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
						1				1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				
30	31													

● 9:00-21:00 ● 9:00-17:00 ● 10:00-16:00 ● 休館日

1 Recommend books

おすすめ図書

藤田 徹 先生 (社会福祉学部)

「宮沢賢治—存在の祭りの中へ」


見田 宗介 著
岩波書店 (1984年)

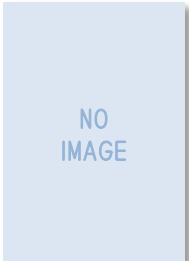
「美しい本」というものがある。しかし、それは装丁の煌びやかな本や最高級の紙で印刷された本を指すわけではない。文体と構成そしてそこへ宿る意味が美しく連なる本がある。その一つが、日本を代表する社会学者・見田宗介が著した『宮沢賢治—存在の祭りの中へ』である。ご存知のように岩手の偉人、賢治は、数々の童話や詩編、手記を残している。その珠玉の作品の断面を織り込みながら、見田の賢治への深淵な評価が交錯する本書は、とても美しいと思う。

見田は、<真摯な求道者>あるいは<幻想詩人>と評される賢治のもう一つの側面、「冷徹」に注目している。この「冷徹」とは、出自を含め賢治が自己自身へ向けた徹底した客観視を指し、それが彼を「二重・三重の屈折の中にたたきこむ」ことになっていく。特に、家業の貸金業（質屋）が農民を搾取する立場にあることの負い目と、それでも身を削りながら育ててくれた両親への恩愛の狭間で「おれはひとりの修羅なのだ」と、その矛盾に苦悩する。見田は、『銀河鉄道の夜』の中に登場する「さそりの火」や『よだかの星』の中の「さそり」として「よだか」として、賢治の苦悩を読み取っていく。

賢治の36年の生涯は、その贖罪の道を歩むがごとく、宗教への傾倒、農学校の教員、下層農民としての生活と挫折という流転の半生として過ぎ去った。その間、トシ（妹）の死を大きな挫折として抱え込みながらも、独創的な作品を創作し続けた。本書において、見田は、その賢治の半生と作品へ何層にも織り込まれた賢治の思いを丁寧に縫い合わせ、その心髄へ迫る見事な筆華を展開していく。それは、賢治の氷結した苦悩を温水で溶かし浄化させる迫力を持っている。

本書の最後、見田は、賢治の最初の詩編である『屈折率』の一節「わたくしはでこぼこの凍ったみちをふみ／このでこぼこの雪をふみ」を取り上げ、この道のかなたにある光り輝く場所は<屈折率>によるもので、この道のかなたには本当は何もなく、このでこぼこの道を歩くことこそが光り輝く場所であること、それこそが賢治の人生の「マグノリアの花」とであると締めくくっている。本書は、こころの幅を広げる名著である。

所在 4F開架 910.268:ミ  ※ 当該図書は10月～11月中、4F図書館だよりコーナー（東側階段を上って正面）に展示しています



2 News①

蔵書リユース市を開催します！

大学祭で毎年好評をいただいている蔵書リユース市を今年も開催します！

各学部関連の専門書、一般教養書、実用書など、除籍した本をどれも1冊100円で販売します。

学生のみなさんはもちろん、ご父兄、一般の方、どなたでもご購入いただけます。

欲しかったあの本が見つかるかもしれません。みなさまのお越しをお待ちしております。



日時 平成28年10月29日（土）10:00～16:00
10月30日（日）10:00～15:30

場所 多目的スペース 風のMont（図書館のとなり）

- ・ 持ち帰り用の袋をご持参ください。
- ・ おつりのないように、小銭のご用意をお願いします。

3 News②

選書ツアーで選んだ本を展示中です

8月10日（水）、盛岡市内の書店にて選書ツアーを行いました。選書ツアーとは、図書館に置きたい本を、学生が書店で直接選べるイベントです。当日は12名の学生が参加し、180冊もの本を選んでいただきました！大学での学習に必要な専門書をはじめ、社会問題について書かれた本、実用書や小説など、参加者それぞれの興味関心が反映された幅広いラインナップとなりました。

参加者の感想（抜粋）

- この本ならわたし以外の学生も使えそう、楽しめそうなど考えながら本を選ぶことができ楽しかったです。選ぶ中で読みたい本が色々できたので、購入されたら借りに行きたいです。
- 興味があっても手を出しにくかった本や、色々な人に読んで欲しい本を山ほど抱えて歩くことができとても幸せな時間でした。是非また参加したいです。

選ばれた本は、参加者のおすすめのひとつを添えて3F中央多目的スペースにて展示中です。ぜひご利用ください！



4 News③

ライブラリー・アテンダント（LA）企画展示「おすすめ本・展示してほしい本」展示中



図書館3階中央の企画コーナーにて、LAによる企画展示を実施しています。

今回のテーマは、「おすすめ本・展示してほしい本」。展示する本を選んだのはLAではなく、図書館を利用するみなさんです！事前に学生にアンケートを実施し、おすすめ本、展示してほしい本を紹介していただきました。さまざまなジャンルの本が並んでいますので、この機会に図書館へ足を運び、今まで読んでこなかった本に出会ってみませんか？

展示期間：平成28年9月末～1月末まで
展示場所：3階中央 企画コーナー

5 Report ライブラリー・アテンダント（LA）活動報告

こんにちは！ソフトウェア情報学部3年の阿部です。

9月15・16日に香川大学で大学図書館学生協働交流シンポジウムが開催され、LAからは4名が参加してきました。

大学図書館学生協働交流シンポジウムとは、LAのように大学図書館で活動している学生が日本各地から集まって各々の取り組みを報告し合い、互いのこれからの活動について考えるイベントです。今年で4回目の参加となり、今回は「これまでやってきた事」「これからやる事」「これからやってみたい事」の3つに関する記事を書いたポスターを出展しました。

他大学から、昨年私たちが発表したことが役に立ったと言う報告が聞けたので、今年の私たちの発表もどこかの役に立つ事を願っています。私たちも他大学の発表を参考に、これからのLA活動に活かしていきたいと考えています。

なお、私たちがこのシンポジウムに出展したポスターはLAのFacebookページから見る事が出来ます。是非ご覧ください。



ライブラリー・アテンダント facebook

<https://www.facebook.com/ipulib.la>



LAのおすすめ

こんにちは！社会福祉学部の佐々木です。今回は、「多目的スペース風のモント」についてご紹介させていただきます。風のモントでは、会話や飲食をしながらの勉強、グループワーク、パソコンの利用のほか、小規模なイベントでの利用が可能です。そして私が特におすすめしたいのは、風のモントに流れるゆったりとした優しい音楽です。落ち着いた空間で勉強やサークル活動がはかどります！

空き時間や勉強にみなさんぜひご利用ください！



バトラー募集！大学祭でビブリオバトルを開催します

ライブラリー・アテンダントは、今年の大学祭にてビブリオバトルを開催します。つきましては、当日に発表者としておすすめの一冊を紹介してくれる「バトラー」を募集しています！

ビブリオバトルとは？
本好き達による熱き書評合戦！発表者が5分間でおすすめ本を紹介し、観戦者の投票にてチャンプ本を決めます。

受付期間：平成28年10月21日(金)まで
申込方法：詳細が決定次第、LAのfacebookにてお知らせします。

<https://www.facebook.com/ipulib.la>
(上の記事にQRコードがあります)

開催日時：平成28年10月30日(日) 14:20～15:30
開催場所：共通棟307講義室



図書館だより
10・11月号(第62号)
(平成28年10月1日発行)
編集・発行
岩手県立大学
教育支援室
図書グループ

TEL：019-694-2070
FAX：019-694-2071